

志和小・中学校だより

第5号 R7.9.22
東広島市立志和小・中学校

学校教育目標「夢と志をもち 果敢に挑戦し 自己実現する児童生徒の育成」

全国学力・学習状況調査

4月17日（木）に実施した令和7年度全国学力・学習状況調査（対象：小6、中3）の結果が公表されました。志和小・中学校の結果は次のとおりです。中学校理科の数値は問題の難易度や学力に応じて算出したスコア、それ以外の数値は平均正答率（全国のみ小数点第一位まで公表）です。

	国語	算数	理科
志和小	73	62	64
東広島市	70	60	61
広島県	69	59	59
全国	66.8	58	57.1

【国語科の課題】

- ・話し手と自分の考えを比較しながら考えをまとめる。
- ・時間や事柄の順序を考え、内容を捉える。
- ・目的に応じて、必要な情報を見つけたり、結び付けたり論の進め方について考えたりする。

【算数科の課題】

- ・必要な情報を選び、数量の関係を式に表す。
- ・分数の加数と被加数について、共通する単位分数の幾つ分かを言葉で表現する。

【理科の課題】

- ・問題を解決するための実験方法を考えたり、実験道具の扱い方を理解したりする。
- ・磁石につくもの、電気を通すものなどの金属の特徴を知る。

	国語	数学	理科
志和中	64	63	56.4
東広島市	58	50	51.5～52.4
広島県	55	47	49.5
全国	54.3	48.3	50.1

【国語科の課題】

- ・文章の構成や展開について、根拠を明確にして考える。
- ・読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整える。

【数学科の課題】

- ・素数の意味を理解している。
- ・式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし数学的な表現を用いて説明する。

【理科の課題】

- ・大地の変化について、時間的・空間的な見方を働かせて、土地の様子とボーリング調査の結果を関連付けて、地層の広がりを検討して表現する。
- ・考察をより確かなものにするために、音に関する知識及び技能を活用して、変える条件に着目した実験を計画し、予想される実験結果を適切に説明する。

小・中学校ともに、国語科、算数・数学科、理科において、全国・広島県・東広島市の平均を大幅に上回っています。これは、学習に向かう姿勢が身に付き、集中して取り組む時間が増えてきていることが考えられます。また、授業中、児童生徒同士で話し合う際、話し合う内容に深まりを感じることも増えています。学習内容に関心を持ち、自分の考えを伝える機会が増えていると感じています。

一方で、小・中学校ともに本校の課題も見えてきました。目的に応じて情報を選んだり、必要な情報を捉えて考えをまとめたり、考えたことを表現したりする力に課題があります。一見、難しさを感じる課題ではありますが、根拠をもとに考える経験を重ねることで深く考える力が伸びていきます。今後も授業の中や日常生活の中で粘り強く取り組んでいきます。

環境整備作業へのご協力に感謝！

8月23日（土）には、朝早くにも関わらず多くの方に環境整備作業に参加頂きました。暑い中、草刈り作業、草集め、溝掃除、エアコンフィルターの交換・洗浄等、熱心に取り組んでいただき、本当にありがとうございました。

子供達も気持ち良く学校生活を送ることが出来ます。

PTAの役員会及び環境整備担当のみなさんには、事前の計画や準備のために何度も集まって話し合いをしてくださいました。ありがとうございました。



平和バス参加の報告がありました。

7月25日(金)に、「平和を享受できる幸せと平和の尊さを再認識し、世界の恒久平和を祈念する」「悲惨な戦争・被爆体験を風化させることなく、その教訓を後世に正しく継承していく」「児童生徒に平和についての関心を抱かせるような平和学習の場とする」ことを目的に、平和学習バスに乗って、広島平和公園で碑巡りをしたり被爆体験のお話を聞いたり、資料館の見学をしたりしました。



8月7日(木)の登校日には、平和バスに参加した小6の北原さん、中2の武田さんから報告がありました。2人とも「戦争は絶対にしてはいけない。」「核兵器や原子爆弾はこの世の中にあってはならない」「戦争をつくるのも平和をつくるのも人間だから、日常生活の当たり前を大切にしたい。」「戦争の悲惨さや平和の大切さを受け継ぎ伝えていきたい」という感想を伝えてくれました。

北広島市からの訪問親善使節団との交流を行いました。

東広島市と北広島市は、昭和55年7月に姉妹都市縁組を学びました。昭和61年に北広島市(当時は広島町)の小学生が東広島市を訪問したことをきっかけとして、昭和63年から毎年、両市の教育の発展と児童生徒の視野の拡大及び友好親善の精神を培うことを目的として、交流を続けています。

8月7日(木)の登校日には、北広島市の親善大使である大曲東小学校の柄澤さん、西部中学校の道野さんをお迎えしました。北広島市は、札幌市と新千歳空港の間に広がるなだらかな丘陵地帯にあります。明治17年に広島県人25戸103人が集団移住し、開拓が行われました。札幌農学校(現在の北海道大学)のクラーク博士が「Boys, be ambitious (少年よ、大志を抱け)」の言葉を残した地としても有名だそうです。それぞれの学校で行っている取組を紹介してもらった後、小6と中3の教室で交流を深めることができました。



8月20日(水)～22日(金)には、本校から小6の柏原さん、中3の恵下さんが北広島市を訪問し、交流を深めてきました。

10月・11月の主な行事

小：小学校行事 中：中学校行事

【10月】

- 1日(水) 小中 スクールカウンセラー来校日
- 2日(木)～ 6日(月) 中 三者懇談(2年生)
- 3日(金) 小 学習発表会
- 6日(月) 小 教育実習開始～10/31 まで
- 7日(火)～ 9日(木) 中 三者懇談(1・3年生)、
修学旅行(2年生)
- 9日(木) 小 個人懇談会
- 10日(金) 小中 前期終了式、中 大掃除、小 個人懇談会
- 13日(月) スポーツの日
- 14日(火) 小 就学時健康診断
- 14日(火)～15日(水) 小中 秋季休業
- 15日(水) 小中 スクールカウンセラー来校日
- 16日(木) 小中 後期始業式
- 18日(土) 中 秋季大会(バレー、野球、ソフトテニス、卓球)、
東広島駅伝大会
- 19日(日) 中 秋季大会(野球)
- 20日(月) 小 クローバー読み聞かせ
- 21日(火) 小中 学校運営協議会
- 22日(水) 小中 スクールカウンセラー来校日
- 23日(木) 中 思春期教育
- 24日(金) 中 クラスマッチ
- 25日(土) 小 市内陸上記録会
- 27日(月) 中 習熟度テスト(全学年)
- 29日(水) 中 生徒委員会
- 31日(金) 中 文化祭



【11月】

- 1日(土)～ 7日(金) ひがしひろしま教育の日
- 3日(月) 文化の日
- 5日(水) 小中 スクールカウンセラー来校日
- 6日(木) 中 市内音楽発表会
- 7日(金) 小中 道徳参観日
- 8日(土) 中 呉・賀茂地区大会
- 12日(水) 小中 スクールカウンセラー来校日、
中 英検IBA(全学年)
- 19日(水) 小中 東広島市教育推進指定校研究大会
- 20日(木) 小中 合同遠足
- 21日(金) 中 生徒会役員(会長・副会長)選挙公示
- 23日(日) 勤労感謝の日
- 24日(月) 振替休日
- 25日(火) 中 保育実習(3年生)
- 26日(水) 小中 スクールカウンセラー来校日
中 生徒委員会



学校だよりをカラーで
ご覧になりたい方はこちら



裏面へ

PTAから講演会への参加報告です。

令和7年6月14日 《 青少年育成東広島市民会議総会&研修会 》

研修会では、講師として元高校教員（生徒指導担当）の、水谷 修氏の「壊されゆく子どもたち～青少年問題の現状と背景、今私たちがしなくてはならないこと～」について講演いただきました。

《参加者》

山岡桂子さん 萩原明日香さん

《感想》

夜回り先生でお馴染みの水谷先生のお話が色々聞けてよかったです。

令和7年6月28日 《 安全教育講習会 》

気象予報士の勝丸恭子氏が「いのちを守る気象情報にするために」「家族を災害から守るために」をテーマとした講演をされました

《参加者》

鈴木香織さん 三好尚子さん 渡辺直子さん 堀光都子さん

《感想》

- ・勝丸さんの話は分かりやすく天気図の見方やクイズをして下さりとても楽しかったです。
- ・自然災害はいつ起こるか分からない。ここの地域は大丈夫、自分は大丈夫ではなく、毎日の意識が大切と強く思いました。
- ・志和は、人が少なく通学路は一人で帰るので心配だなと思いました。
- ・危険箇所を改めて一緒に考えたらいいなと思いました。
- ・気象、防災共に様々な情報を得て自ら考えて積極的に行動することが大切かつ必要なことがよく分かりました。
- ・防災士の資格を取ってはいますが、心肺蘇生の練習が出来た事で再確認をする事ができました。

令和7年7月26日 《 第35回社会を明るくする運動 》

元広島東洋カープ投手 中田廉氏が”夢に向かって進む”について講演されました。

《参加者》

武田奈々さん 半川碧さん

《感想》

- 青少年の犯罪は年々増えており、暴走行為については、警察が見張っていてもSNSですぐに情報が拡散され取締りも難しくなっているそうです。いじめや犯罪でSNSが使用され、色々複雑で大変な時代になったと感じました。
- 元カープの中田廉氏の講演では、「カープ時代よりも高校時代の3年間の方がしんどかった」という言葉が印象に残りました。夢に向かって頑張っている時は辛いけども、充実した人生にするためにも重要だと思うので、子供たちも夢に向かって頑張りたいです。
- 中田さん自身の経験談をもとに夢を持ち続けることの大切さや、夢の設定値を現実を見て達成しやすいとのにすることが大切であることなど実りのある話でした。元プロ野球選手がどのような子供時代で引退に至るまで、こういった思いだったのかも聞くことができ、個人的にはとても良かったです。

感想からも素晴らしい講演だったことが分かります。

ご参加いただきありがとうございました。